

取組及び役割のまとめ

団体名・氏名	具体的な内容
1 飯田芳男	目下既設の市民団体に属していない個人参加の意思のあるボランティアのためのNPO法人設立を考えている。(永倉委員らと一緒に)実現すれば自ら参加はできにくいですが、コーディネーターとしてこの自然再生事業の推進に役立ちたい。
2 おおたかの森トラスト(足立圭子)	くぬぎ山を含めた武蔵野台地に広がる平地林をおおたかの森と名付け、次世代の子供たちに引き継ぐことができるよう、下記の活動を行っています。 多くの人々の協力のもと、森を買い・借りて保全協定を結び、里山における生物多様性を目標にした新たな平地林保全管理計画を策定し、生物調査やモニタリングを行いながら、保全管理を実施している。国・県・市町などに呼びかけて土地所有者が平地林を保持できる方法を提案してきた。保全計画に沿った実施作業では、幼稚園・小学校・中学校・高校・大学・企業と連携して、子供から大人までの幅広い人々に、体験型環境教育や総合学習の計画・指導を実施し、外部から講師を招いて自らも学習を重ねている。動植物の保護はもとより保全活動から得た森林資源を最大限有効に活用するため、土壌改良や農薬低減など農業へのつながりも構築している。産廃跡地や裸地への植生復元を行うための苗を育成し、復元に参加している。不法投棄されたゴミを回収の実施。平地林の現状や活動内容を新聞・インターネットによるホームページを作成し、より多くの人々への情報発信に努め、ボランティア支援センターを建設・維持管理し、市民及び市民グループへの連携を推進している。保全作業をより楽しくするためにレクリエーション機能を導入し誰でも気軽に続けて活動への参加ができるように日夜努力をしている。
3 川越緑のサポーター(金子晃)	当面、モデル事業として手入れを行った川越地区の1, 2, 3への川越緑のサポーターとして維持手入れ活動を行う予定。
4 櫛山を考える会(横山夢)	上記くぬぎ山に係わり方(1)(2)はボランティアに参加するか否かを問うているが、参加した場合、ボランティア義務が生じるのか。公害問題からくぬぎ山に関心を持っている人は大勢いるが、熱が冷めればボランティアなど全く当てにならない。きちんとした予算付けをして毎年の維持管理は地権者に任せるべきである。地権者の管理できないものをボランティアに手伝ってもらうのが一番効率的費用削減できる。地権者に何の見返りもなかったら、地権者はこの計画に参加しない。
5 くぬぎ山を考える地権者の会(平岡久司) 田中里司 大河原豊 深田良洋 砂川育雄	二次的自然の再生を図る為には、山を管理する担い手が必要であります。しかしながら、今では地権者にとってなんら益のない、その役割の終えた山に労力を費やすことは考えにくく、地権者のみの負担にしては大きすぎます。また、ボランティアだけに依存してもその広大な面積からいっても限度があると思います。 そこで、地権者にとっても利があり、さらにその管理ができないときに他人に管理を委託できるようにすること、即ち、管理料を支払う制度を取り入れることです。この事は地権者のためだけでなく、緑の景観地制度に習い、環境林と位置付け多くの市民が享受することになり理解は得られるものと思います。 そこで、私たちは公正を図るため登録された地権者の管理状況をチェック支援する機関(NPO)を立ち上げ、二次的自然の再生がスムーズに経済的に行われるようにしていきたいと考えます。やはり管理は地権者としての管理義務もあり、業者委託より安く済み、地権者に依頼するのが一番良いのではないかと思います。また地権者にとっても資産価値が多少ではあるが生まれ、継続して維持管理していくことが可能になります。
6 こどもと森の会(大西和江)	将来くぬぎ山は学校教育での環境学習の場になると思われるので、子供たちの(小・中・高校生以外に、一般市民も含めて)自然観察、調査、管理作業、ゴミ拾い、森の中での遊び、その引率と安全確保などへの協力、お手伝いをしたいと思います。

団体名・氏名	具体的な内容
7 (財)埼玉県生態系保護協会(須永伊知郎)	<p>組織(埼玉県生態系保護協会)として、くぬぎ山地区の自然再生事業実施者として、何に取り組んでいくかの決定は現時点でしていない。</p> <p>これまで、くぬぎ山に関して様々な活動を実施してきたが、当協会は実践活動団体、仲介・コーディネート機関、調査・研究機関としての3つの側面を持っているため、くぬぎ山の自然再生事業についてもこれらの観点から取り組んでいきたい。</p> <p>具体的には、この2年間に計5回程実施してきた「くぬぎ山自然再生作戦」の主催者団体のひとつとして、継続的に取り組む意向である。このイベントは、市民レベルで実施可能な植生管理作業やゴミ清掃等を通じ、くぬぎ山の自然再生に直接寄与できると共に、関係団体や関係者等と協働で同じ目標に向かって取り組んでいける等の点で効果的なものと考えている。こうしたイベントを通じ、多くの県民にくぬぎ山の自然再生をアピールし、実践活動に加わる人たちを増やしていきたい。他にも、トラスト活動を通じた土地の保全や自然環境調査を踏まえた保全管理計画の検討と、管理効果の検証等についても、役割を担っていききたいと考えている。</p>
8 彩の国緑の推進連絡会(田村博一)	<p>くぬぎ山地区自然再生には大きい関心を持っていますが、私の所属する団体は全県的な団体(彩の国緑の推進連絡会)であるため、主体的に実施団体として取り組みには地域内のメンバー数(人数)が少なすぎます。よって他の団体の方々と一緒になって取り組むのが効果的でしょう。</p> <p>地権者と共に管理するにしても、管理人手に不足がある現状では・・・ボランティアの人数を多く集める必要があると思います。積極的に保全作業には係わりたい。また人集めもしたい。集まった人達への自然保護啓蒙が雑木林への保全につながると思います。</p> <p>私はクルマに乗りませんので、公共交通(バスなど)の停留所に近い場所で実行できるグループに入れれば有り難いです。</p>
9 狭山丘陵の自然と文化財を考える連絡会議(勅使河原彰)	<p>自然再生事業実施者としてではないが、納税者の立場から行政施策として実施される自然再生事業に主体的にかかわっていききたい。</p> <p>特に、緑地保全制度による既存林の保全担保と産廃施設等の移転・誘導に伴う雑木林の再生は、行政施策として行わない限り実現不可能であるため、狭山丘陵等での保存運動の経験を活かして積極的に取り組みたい。前者については地権者との調整が鍵になると思われるため、自然保護団体の立場から合意形成を図りたいと考えている。後者については、「緑地環境整備総合支援事業」の導入により、緑地保全地区の指定に都市公園の整備を組み合わせることで実現していくことが望ましいと考えている。また、くぬぎ山地区を含む三富新田の「世界遺産登録」の運動も進めたい。</p>
10 三富江戸農法の会(横山進)	<p>昨年に引き続き、「ヤマ掃き隊」と称して、1月～3月の間、ボランティアを募集し、市民参加型で毎週土曜日にヤマの手入れを行い、手入れされなくなって荒れたヤマを落ち葉を掃けるようなかつてのヤマに再生する手法を実験している。</p> <p>人数や状況に応じて、どのような割り振りが最適か、どのようなやり方が最も効率的か、といったことを実践の中で、探っている。</p> <p>今年は、ヤマの手入れをするために欠かせない、熊手などの道具の大切さを、参加者と共有することを一つの目標としている。これまでは、三富江戸農法の会などで熊手を買って、それを参加者に貸してきたが、それでは、道具に馴染み、適切な扱い方を理解してもらいにくい。そこで、今年は、熊手の貸し出しは行わず、参加者自ら道具(とくに熊手)を持参する形を試している。</p> <p>荒れたヤマ 落ち葉を掃けるヤマ = 自然再生 の早体系的な手順は以下。</p> <p>下草刈り...落ち葉掃きを始め、様々な手入れの妨げとなる草などを刈る。</p> <p>倒木、落ちていた枝などの撤去...落ち葉掃きを始める様々な手入れの障害となるものを撤去する。</p> <p>落ち葉掃き...落ち葉を掃き、堆肥を作る。山火事を防止する意義もある。</p> <p>枯れた木などの伐採...立ち枯れている危険な木などを切って、人が安全に出入りできる林にする。</p> <p>伐った木などの後処理...伐採した木を林の中にそのまま放置しては、「ヤマ」の景観も損なわれ、翌年以降の手入れの邪魔ともなるので、きちんと処理する。</p> <p>ここまでの手入れが完了すれば、荒れていたヤマも、落ち葉を掃ける「昔ながらのヤマ」となり、翌年からは、落ち葉掃きも楽ちん。</p>
11 所沢・生命と緑と守る会(城野律子)	<p>私どもは何の専門知識のない主婦の団体ですので、主体的に取り組む知識も方法もわかりません。皆様のお話を聞き、ボランティアとしてどう働きかけることが将来のくぬぎ山の環境のためになるのか学んでいるところです。今までは清掃活動や署名運動などに取り組んできました。</p>

	団体名・氏名	具体的な内容
12	武蔵野に学ぶ会 (関谷豊)	<p>・くぬぎ山は、持続可能な農業地帯の中の雑木林である。その経済システム確立のために主体の農業者と市民をつなぎ合わせる役を担う。</p> <p>・農家が下草刈りや落ち葉掃き等の市民参加を受け入れるときの事務局役をする。</p> <p>～農業の中の農用林(くぬぎ山)の理解を体験も含めてする。</p> <p>～農用林を生かした農産物を販売する場を作る。</p> <p>～くぬぎ山と農地の年間を通しての市民参加から理解を深める。</p> <p>永続的に農業者+市民で地域を作っていくための基礎と捉え、日常性を持った活動を組み立てる。</p>
13	井草長雄	<p>個人的には、96年頃からくぬぎ山のゴミ拾いから始めて、森林施業などに休日だけですが参加してきました。ということで、伐採・間伐・下刈り・枝打ちや落ち葉かきなどの作業経験があります。チェーンソーも一応使えます。(車の運転はできません)炭焼きの作業も「おおたかの森トラスト」でしています。具体的には、「おおたかの森トラスト」のメンバーとして、活動していくことになるでしょう。</p>
14	池田貴昭	<p>1.ダイオキシン汚染土壌対策: 添付資料「ダイオキシン分解コンポストによるダイオキシン汚染土壌の浄化プロセス」参照</p> <p>2.生物学的多様性確保を通じた平地林植生の再生: 添付資料平成15年度(財)都市緑化技術開発機構助成研究「林床日照条件から見た雑木林の生物学的多様性 池田貴昭」参照</p> <p>3.木質系バイオマスの有効利用(発電材料): 添付資料「三井造船バイオマス完全ガス化炉パイロットプラント運転状況」参照</p> <p>かつて雑木林の木質系バイオマスは木炭や燃料等生活用エネルギーとして利用されていたが、生活様式がかわってしまった現代社会においては、同じエネルギー源として利用するにしても、現代生活に受け入れられやすいエネルギー形態(すなわち電気)に変えてやる必要がある。しかしながら、木質系バイオマスを単に燃焼させて効率よく電気に変えるには蒸気タービンと組み合わせた年間数十万トンと言う大規模な処理容量が必要であり、とてもそのような大量の木質系バイオマスは供給出来ない。ところが、今般三井造船で成功裏に開発された完全ガス化法は冷ガス効率が70%~90%と他の追随を許さぬ高さであり、これとガスエンジンを組み合わせることにより、年間処理容量が数万トン以下でも発電端効率が25%と小規模発電(数百~2000KW)では実用上十分な発電効率を達成出来る。こうした最新鋭の木質系バイオマス完全ガス化発電の原料として発生木質バイオマスを位置づけられる地域エネルギー供給計画の策定支援</p> <p>4.木質系バイオマスの有効利用(マテリアル利用) 私は太陽光発電で、2001年には「新エネ大賞」を(今もって個人資格での唯一の受賞者)、2004年には「地球温暖化防止環境大臣賞」を受賞したが、国土交通省の昭和記念公園等に設置されているPV-サインや照明は私が設計したものである。いままでは金属躯体を用いたものであったが、間伐材等を防蝕処理してこうしたものが出来ないか。あるいはそうしたものをこの地域の特産物として、まずは県で利用出来ないか? 添付資料「第6回新エネ大賞受賞事例新エネルギー財団会長賞導入事例の部」</p>
15	石澤直也	<p>くぬぎ山には様々な団体が入って、種々活動を行っている。その中で最も地道にかつ実際的に取り組んでいるのがEco-netである。主催者は森文武氏で、地元の三富江戸農法の会や、その他の農家の信頼が厚く、非常に良い雑木林の管理を実施している。</p> <p>この会に参加して、くぬぎ山の再生・保全に努めていく予定。又、ここ一年半にわたり、くぬぎ山の生物調査を実施し、当地が非常に多様性に富んだ雑木林であることを実感した。又、この調査で体得した情報は既にくぬぎ山の生物調査報告書にまとめ、関係機関、各委員に配布してある。この情報をくぬぎ山での管理活動に活用し、更なる情報の充実を図る予定である。</p>
16	井上孝夫	<p>再生・保全を進めていく上では、多くの人の協力が不可欠です。地権者である農家の方々や、この地域で活動する自然保護団体などの協力を得て、又、ボランティアの力も結集する必要があると思います。私も参加してきましたが、「くぬぎ山の緑を救おう」というイベントには毎回数百名の参加者があります。今後も、再生・保全に向けて様々な事業が実施されると思いますが、積極的に参加・協力していくつもりです。</p>
17	大貫義一	<p>立ち枯れの木(殆どが松)、又は倒れかかっている斜めの木は大変見苦しいし、ダイオキシン禍を思い起こす遺物で、早くきざんで処理したいものです。実際大木を処理するのに大変な労力と歳月がかかるとは思いますが、夢としてくぬぎ山軽井沢と呼ばれるようにしたい。昔で言えばきこりの作業を希望します。地権者の同意を早急に取りたい。</p>

	団体名・氏名	具体的な内容
18	尾関雄一郎	<p>概略ですが以下のように、自然再生事業を進められてはと思っております。</p> <p>自然再生事業を実施するにあたって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三富の伝統文化を継承し、農業や雑木林管理を実施 ・希少種はじめ自然の保護 ・近隣住民を中心とした散歩など憩いの場としての活用 ・土地所有者の維持管理の軽減 ・相続税など負担 <p>さまざまなニーズが存在。参加する誰もが負けない仕組みづくりが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地保全地域制度などを活用し、一定の行為を制限し緑地を保全するとともに土地所有者の管理の軽減や相続税など税制の優遇 ・地域住民・地権者を中心に、「自然再生事業」について周知 ・NPOと地権者が協力し合える体制づくり ・順応的管理手法に準じた最適な整備手法の実施 <p>整備手法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くぬぎ山地区を複数の手法で整備するのが望ましい。 ・約150haという広大な面積が対象である。 ・くぬぎ山梓区の多くが私有地で構成され、多数の地権者が存在する。 ・P17で示すように、植生も多様である。 ・係わる人のくぬぎ山に対する「思い(活用)」がさまざまある。 <p>整備するにあたって分析(診断)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート形式でニーズ(地権者など)を知る。 ・植生・アンケート結果などによりパターン(スケール・地区)分けし、整備方法について検討する。 <p>実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識人が全体を取りまとめ、整備方法について整理し、実験・モニタリング調査を進める。 ・実験の結果の対応策を確立する。 <p>評価・本格始動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微修正を加え、事業の本格的な指導 ・自然再生事業が円滑に行なわれるよう、参加する複数のNPOを取りまとめ、活用の場を設定する事務局を設置し、整備にあたる。
19	片桐一郎	<p>1 事業実施計画づくりへの参加</p> <p>これまでいろいろなまちづくりに参加してきましたので、これまでの経験を参考にして、さまざまな手法や制度を活用しての自然再生事業計画づくりに協力することは可能です。</p> <p>2 平地林管理活動への参加</p> <p>くぬぎ山に比較的近い場所に居住していることから、平地林の管理組織がスタートすれば、ボランティアとして参加し、林地の間伐、下草刈り、落ち葉掃きなどに参加して自然環境の保全と再生活動に協力したいと考えています。</p>
20	賀登環	<p>1. 川越で平地林の手入れにかかわっている団体は、今のところ緑のサポーターくらいである。私はこの団体のメンバーでもあるので、当面はこの団体を軸に手入れ作業を進めていく。</p> <p>2. 川越には市民・事業者・行政のパートナーシップの環境団体として“かわごえ環境ネット”が活動している。この組織に情報発信していくことで参加を呼びかける。</p> <p>いずれにしても、川越のくぬぎ山への関心度は低いので、まずは呼びかけることから始まると考えている。</p>
21	佐藤昇	<p>現在私の住所は指定されている場所に居ます。原自治会の一員です。自治会として活動できるように、又自治会の一員として活動して行きたいと思えます。</p>
22	澤賀津子	<p>(管理活用)環境教育への活用。歴史と文化の意義深い地で、自然再生を試みつつ、その過程の中で人と自然の共生が実感できる環境教育の場作りを、子どもから大人まで自然の恩恵を体感できて、自然再生に参加できる方策を探る。但し、地権者の合意が得られるかどうか最大の課題。</p> <p>(再生保全)自然再生既存樹林の保全方策。くぬぎ山の状況とよく似て参考にできる地区があれば視察、交流、助言を得てそうした情報も参考にしながら、保全策を考える。但し、地権者との接点が見出せるのが最大の課題。</p>

	団体名・氏名	具体的な内容
23	長岡泰彦	<p>下記の農・環境教育のための計画・調整 (PIパブリックインボルブメント) 農の営みが色濃く映る里山や田園の環境を活かした農・環境教育の計画・調整</p> <ol style="list-style-type: none"> これから計画立案もふくめて10年にわたる活動を行い、それを土台に「くぬぎ山憲章」を制定し、市民と行政で制定した市民が農にいそしみながら自然を保全する活動を展開する。事業は「指定管理者制度」と自主事業で行い、田園体験区域、運営管理棟、作業棟、トイレなど雑木林の維持管理・運営を協議会が行い耕作や自然観察会などさまざまな体験活動を行う。 協議会がこの地域を維持管理するために「くぬぎ山学校」を開催し、指導員養成を行い、1年間の講座ののち、希望者はOJTにより、指導員とマンツーマンで実施研修をさらに1年行い、よければ指導員として仕事する。
24	福山康夫	くぬぎ山の自然を損なわずに、来訪者が快適に利用できるにはどのような施設が必要かをその配置を含めて意のある人と協同して考えていきたい。また、施設が完成した後の管理・運営法についても考えてみたい。
25	別府清毅	<p>取組に参加したい事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 森林維持管理 維持管理作業経験が少しは有るので参加したい。伐採、チェーンソー、枝払い(なた・のこ・かま使用)、草刈(刈払い機、鎌)、片付けなどの作業指導もできると思います。 循環型農業に関する作業 雑木林の作業にあわせて農作業も多少はできるのでこの方面に参加したい。 自然に対する環境教育 特に子供達に作業経験から、雑木林の大切さと作業の楽しさを伝え、その心を受け渡したい。技能とまでは言えないまでも作業する楽しさ大切さを伝えたい。 その他 可能な限り色々な事業に参加し、手伝えることは手伝いたいと思っています。緑の雑木林を守る活動ができるよう健康に注意したい。
26	安江昌子	諸事情により、おおたかの森トラストの取組に参加したいと思います。